

【学校だより】

ほさかっこ

<http://www.hosaka.comlink.ne.jp/>

穂坂っ子

【学校教育目標】

心豊かで
かしこく
たくましい子ども

令和2年2月3日 NO. 8 穂坂小学校長

暖冬の影響で、本校の特設スケートリンクは、まだ滑走可能なほどに凍りません。今日は節分。明日からは、暦の上では「春」を迎えます。一年の内でもっとも寒いと言われる如月（きさらぎ…衣更着（きさらぎ）」が転じたという説もあります。）ですが、今年の暖かい冬は、ほっとする反面、子どもたちがスケートできるくらいの冷え込みがないのも残念だなど、複雑な思いの1月でした。

1年間のまとめをして、次の学年の準備をしっかりとする3学期です。インフルエンザ等の感染症が心配な季節ですので、ご家庭でも健康維持と予防へのご協力をよろしくお願いします。

道徳の授業参観・ふれあい教室へのご協力ありがとうございました（1月19日）

穂坂公民館とPTA教養部の共催で、今年も「ふれあい教室」が開催されました。当日は、道徳の授業参観の後、子どもたちが楽しみにしていた、お手玉、繭玉、ミニ熱気球、和凧、壁飾り、木工工作にそれぞれ取り組みました。また、地域の皆様と食べた豚汁とおにぎりの昼食は、格別のおいしさでした。親子・地域の方々が様々な活動を通して、豊かなふれあいができたと思います。改めて穂坂町ならではのすばらしい行事だと思いました。準備から、当日の運営、片付けまで、多くの方のご配慮いただきましたことに感謝申し上げます。



伝統の繭玉づくり



羽子板づくり（木工工作）



体育館で作品鑑賞



地区ごとに昼食

ふれあい教室の前に行われた道徳の授業公開では、多くの保護者、地域の方が参観してくださいました。



授業後に行われた「わかこま育成協議会」では、出席された協議会委員から、ご自身の受けてきた道徳やいわゆる修身との違いについて、感じたことを述べていただきました。

また、これからの道徳教育のあり方についてもご示唆をいただきました。

創立150周年に向けて 準備会(考える会)を開催しました

1月19日のふれあい教室の後、穂坂小学校に関わりの深い方々（教育後援会正副会長、学校評議員、PTA正副会長、穂坂町在住本校校長歴任者）にお集まりいただき、穂坂小学校創立150周年記念事業に向けた準備会（考える会）を開催しました。

穂坂小学校は、これまでに多くの卒業生を輩出し、教育・文化の中心として、地域の皆様の心の拠り所となってきました。令和5（2023）年に、創立150年を迎えるに当たり、本校の歴史を振り返り、本校を育てていただいた皆様への感謝とともに、将来も長きにわたり歴史を刻むことができるように、お祝いしたいと考えています。

記念事業を行うには、準備も含め、時間と手間、費用が必要となります。年度を越えても企画・運営が継続できるように、横森宏尹後援会長を中心に、まずは実行委員会の組織作りをしていくことが確認されました。

今後、有志の公募、あるいは推薦等を行い、実行委員会を立ち上げていくことになるとは思いますが、保護者、OBを含めた地域の皆様のご理解とご協力なくしては、記念事業は実施できません。趣旨をご理解いただき、積極的なご協力をお願い申し上げます。